別紙第４号の11書式　（平17財令22・追加、令２財令73・一部改正）

第一片

（注意）延滞金を支払わなければならない場合において、領収しました金額が元本及び支払われるべき延滞金の合計額に不足するときは、領収しました金額を延滞金、元本（元本、延滞金）の順に充当します。

納付書・領収証書　（国　庫　金）

（番　号）

右のとおり納付して下さい。なお、納付期限内に完納されなかつたときは、右の延滞金の計算方法により延滞金額を計算して、その額及び合計額を該当欄に記入して納付して下さい。

年　月　日　（歳入徴収官、歳入徴収官代理、分任歳入徴収官又は分任歳入徴収官代理官職氏名）

（住　所）

納付期限

（氏　名）

納付場所

殿

納付目的

延滞金の計算方法

下記の合計額を領収しました。

（領収年月日及び領収者名）

（年　度）

（会　計）　（主管又は所管）

（取扱庁名（番　号））

	百	十	万	千	百	十	円
元本（科目又は符号）							
延滞金（科目又は符号）							
合計額							

◎この納付書は、３枚１組の複写式となつていますから、３枚とも納付場所に提出して下さい。

翌年度　月１日以降現年度歳入組入

第二片

領　収　控　国庫金　㊞

（番　号）

納付期限

納付場所

（住　所）

（氏　名）

殿

納付目的

延滞金の計算方法

下記の合計額を領収しました。

（領収年月日及び領収者名）

（年　度）

（会　計）

（主管又は所管）

（取扱庁名（番　号））

	百	十	万	千	百	十	円
元本（科目又は符号）							
延滞金（科目又は符号）							
合計額							

翌年度　月１日以降現年度歳入組入

第三片

領　収　済　通　知　（報告）　書　（国庫金）

（番　号）

あて名

（歳入徴収官、歳入徴収官代理、分任歳入徴収官又は分任歳入徴収官代理官職氏名並びに所属庁名及び所在地）

（住　　所）

（氏　　名）

殿

納付期限

納付場所

納付目的

延滞金の計算方法

下記の合計額を領収しました。

（領収年月日及び領収者名）

（年　　度）

（会　　計）

（主管又は所管）

（取扱庁名（番　　号））

	百	十	万	千	百	十	円
元本（科目又は符号）							
延滞金（科目又は符号）							
合計額							

翌年度　月１日以降現年度歳入組入

備考

１　別紙第４号書式の備考は、本書式に準用する。この場合において、同書式備考中「納入告知書」とあるのは「納付書」

と、「納入の告知」とあるのは「納付の請求」と読み替えるものとする。

2　第21条の２の規定により作成する納付書にあつては、納付目的の欄に主たる債務者の住所及び氏名又は名称並びに納付の請求の理由を付記するものとする。